

## 第34回高松市中心市街地活性化協議会

### 開催結果

1. 日 時 令和5年4月24日

2. 場 所 高松商工会議所会館 4階 401 会議室

3. 概 要

議 題（1）令和元年度認定第3期高松市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告（案）について

提出された意見をもとに以下のとおり、高松市に提出した。

第3期基本計画の認定から3年9か月が経過する令和4年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である新県立体育館整備事業や高松駅周辺開発事業の着手など事業の進捗が見られるものの、34事業が継続実施中、9事業が未完了となっており、引き続き、事業の着実な進捗を図りたい。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少していたが、令和4年度は瀬戸内国際芸術祭2022の開催もあり、回復傾向となった。今後は高松空港の国際線定期運航の再開等を契機として、インバウンドによるさらなる回復を促し、入込客数の最大限の増加に努められたい。

また、中央商店街の歩行者等通行量については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成している状況である。

新規出店数については、令和4年度は昨年と比べ47店舗と増加しており、これまでの状況から改善されており、目標達成に近づいてきている。区域内のマンション完成による居住者が増加していることから、幅広い業種が出店する機会が増えることで、新規出店が期待できる。

一方で、中心市街地では、マンションの建設による居住人口が増加しつつあることから、目標達成に向け中心市街地への居住層をターゲットとした新規出店予定者を後押しするよう、創業支援制度や空き店舗を活用した出店補助等の施策の活用を進められたい。

中心市街地の社会動態並びに、ことடன்3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られるが、次年度3棟の分譲マンションが竣工し、282戸の分譲が予定されていることから、各種施策を効果的に実施することにより、居住人口の増加を図るとともに、併せて公共交通の利用が促進されるよう、乗り継ぎサービスの向上を初めとする各種施策の推進に努められたい。

今後は、アフターコロナに向け、インバウンドの大幅な増加や経済活動の活発化が期待されていることから、官民が連携し、基本計画に位置付けられている中核事業の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。

議 題（2）令和元年度認定第3期高松市中心市街地活性化基本計画の変更（案）について

原案どおり承認可決した。

議 題（3）第4期高松市中心市街地活性化基本計画（仮称）の策定スケジュールについて

原案どおり承認可決した。